

## 平成 29 年度 宮島観光学入門（英語）講座

平成 29 年度の「宮島観光学入門（英語）」は 13 名が受講しました。リチャード・ウェバー先生から宮島の歴史や文化について学び、宮島現地でガイド練習、大学でバーチャルガイド練習会もおこないました。現地のガイド練習では、厳島神社の石鳥居から神社出口まで案内できるよう、学生同士で協力しながら練習しました。バーチャルガイド練習会では、授業で学んだことをもとに教室のスクリーンに宮島の写真を投影し、外国人観光客への声のかけ方や、アイコンタクトなど、コミュニケーションの方法も学びました。



バーチャルガイド練習会

最後に、学生たちが宮島を訪れ、英語ガイド実践をおこないました。学生は 3 つのグループに分かれ、宮島の商店街出口付近、石鳥居の前で待機し、アメリカ、オーストラリア、カナダ、ドイツ、フランスの観光客を、厳島神社出口まで英語で案内しました。「宮島の鹿はどこから来たのか」、「狛犬は、なぜ玉の上に乗っているのか。乗っていない狛犬もいるが、なぜか」といった、想定外の質問もあり、知っていることを伝えるだけでは通用しないことに気づかされました。

現地ガイドに参加した学生からは、「将来通訳になりたいという夢があり、宮島という場所で、直接外国人とふれあい、生の体験をすることが重要であると考え、この授業を受講した。授業を受講するまでは、宮島についてほとんど知識がなかったので、宮島をガイドする、しかも英語でということが、どれほど大変なのか、自覚を持つことができた。また、実際のガイドでは、申し出を断られることもあり、笑顔で話しかけても相手にはよく伝わらないこともあるということを感じ、国際交流の難しさを経験することができた。ただ説明をし、情報を伝えるということではなく、コミュニケーションをとることが大切であり、自分だけが満足するのではなく、相手を満足させることがガイドの仕事であるということも理解できた。この授業では、広島県民として拙いながらもガイドができるほどに宮島について学ぶことができ、この大学に来てよかったと思った」などの声が聞かれました。

これまで特別講座で実施していた「宮島観光英語ボランティアガイド講座」は、平成 29 年度から全学共通教育の正規科目「宮島観光学入門（英語）」（1 年生後期）となりました。